

---

## EVを活用したまちづくり事例

---

1. 長崎県五島市 ~長崎EV&ITS(エビッツ)プロジェクト~
2. 京都府 ~京都EV・PHV物語(新感覚の古都巡り「京都ECO観光」)~
3. 神奈川県 ~充電インフラ等の位置情報WEBサービス~

# 1. 長崎県五島市 ~ 長崎EV & ITS (エビッツ) プロジェクト ~

## 【取組概要】

長崎県は、第1期EV・PHVタウン(平成21年3月選定)に選定。五島地域においてレンタカーとして次世代型カーナビITSを登載した電気自動車を導入支援(五島地域100台、うち五島市65台・新上五島町35台)することにより、「未来型ドライブ観光」の実証事業を実施。

### 平成21年度の主な取り組み

- 五島地区のレンタカー等に、ITS車載器も搭載したEVを100台(3月末)、PHVを2台(6月末)導入。
- 急速充電器を6月末までに8箇所15基整備、200V充電設備も配備。
- 地元の観光情報を次世代ITSを通じて発信。五島市・新上五島町に各10のおすすめルート策定。
- うち74台をレンタカーとして供用開始。6月末日までに19社856台実績(五島市12社697台、新上五島町7社159台)。

### 平成22年度以降の主な取り組み

- 導入状況を踏まえ、電気自動車等のレンタカー以外のタクシーや一般車への導入、他地域への展開も視野に入れた意見交換やイベントなどを実施。



出典: 長崎県EV・PHVマスタープラン  
EV・PHVプラットフォーム(経済産業省)

## 2. 京都府 ～ 京都EV・PHV物語(新感覚の古都巡り「京都ECO観光」)～

### 【取組概要】

京都府は、第1期EV・PHVタウン(平成21年3月選定)に選定。全国に先駆けて、電気自動車等の普及促進条例を制定し、自動車メーカーなど関係者による協議会での議論を踏まえ、「電気自動車普及促進計画」を策定。これらを踏まえ、「観光」という強みを活かし、京都EV・PHV物語(新感覚の古都巡り「京都ECO観光」)を推進。

#### 平成21年度の主な取り組み

- タクシー、レンタカー会社がEV・PHVを導入。
- 観光地(上賀茂神社、大覚寺)に充電設備を導入。

#### 平成22年度以降の主な取り組み

- 対象車両で、対象の寺院・神社を訪れた方に、記念品の贈呈など特別優待を実施。また、タクシー、レンタカーの各事業者は事業収益の一部を、ふるさと納税制度を活用した府内の文化財保護のための基金である「文化財を守り伝える京都府基金」に寄付(2010年6月1日～12月31日)。
- 「京都eco観光EVカーシェアリング事業」として、日本駐車場開発(株)が運営管理する六角堂南駐車場とウエスティン都ホテル京都にEVを1台ずつ設置、提携宿泊施設の宿泊者を対象に無料で貸し出し(2011年8月1日～2012年2月29日)。



出典: 京都府EV・PHVマスタープラン  
METIジャーナル 2010年3・4月号



### 3. 神奈川県 ~ 充電インフラ等の位置情報WEBサービス ~

#### 【取組概要】

神奈川県は、第1期EV・PHVタウン(平成21年3月選定)に選定。2006年11月、産学官からなる「かながわ電気自動車普及推進協議会」を設立し、EV普及に向けた対応について協議を重ね、2008年3月、協議内容を踏まえ、「2014年度までに県内3,000台のEV普及」を共通の目標とした「かながわ電気自動車普及推進方策」を取りまとめ、EV普及に向け取組を実施。

#### 平成21年度の主な取組み

- 急速充電器や100V・200Vコンセントといった充電インフラの設置情報を、パソコンや携帯電話で簡単に検索できるウェブサイトを開設

#### 平成22年度以降の主な取組み

- EVタクシーの普及を目指す「かながわEVタクシープロジェクト」の本格始動に向けて、県、神奈川県タクシー協会、日産自動車(株)が「かながわEVタクシープロジェクト推進協議会」を2010年4月に立ち上げ、取組実施。
- 福祉サービスの向上(社会実験としてのEVタクシーによる障害者割引(1割 2割、2013年3月まで)など)、観光振興策との連携(箱根EVタウンプロジェクトとの連携など)によるEV観光タクシーとして観光利用拡大)、環境貢献の実現(EVタクシーへの転換によるCO2削減分のクレジット化の検討など)を実施。



出典: 神奈川県EV・PHVマスタープラン